



### 沖繩から

十年の役、乃木第十四聯隊、山峽の出口の所に西郷の旗手川原林少尉が聯隊終焉の地がある、當時官軍の旗を奪取されたことは世人の攻撃益々猛烈を加ふる折れを奪取したるものは市外を以て此處まで来たなり吉野村の岩切信夫(當時二時偶々一個の流弾飛來つ十二才)であつて、同人は腰刀を貫かれしもの巨賊軍の第四番大隊第九番小人もあはれ最後の頁を閉つ隊の押伍として二月二十二日に至つたのである。終焉の夜熊本植木の戦に參の碑は石垣を繞らした中に加したのであるが、此の戦建られたのである、碑文を一は非常な激戦で彼我互に讀まれたもの誰か當年を回顧入り亂れ白兵戦を演じ始りして暗然たらざるを得ないど收拾不能に陥つてしまつてであらう

此處より更に東方六、七の廣い所に二十三人が佇立明を隔てた浄光明寺の境内して何事か凝視してゐたが、西郷以下數百名の墳墓暗夜の中にも確かと判つたことがある、常に香煙の絶ゆるが敵か味方が認め難いので、例へば順逆を誤る賊軍當夜の合言葉と定められた「東」「西」を岩切が「西」と呼びたるも何等の返事がないので多分官軍だらうと想像して一刀をあげた所忽ち其處に仆れたから二の太刀で止めをさしたといふ、それが川原林旗手で當時聯隊旗は「グ」捲きにして背中に挿してゐたのを奪取したのださうだ其後賊將邊見十郎太はその聯隊旗を竿にさし背中に附けて熊本城下を馬上悠々と馳廻して城中の官軍を憤慨せしめたとといふ實話を傳へて

岩崎谷を出て東方約三町

ついで一旦錦旗に抗した逆賊の忠誠より出でたる其衷情に對しては等しく世人の追慕し得ざるものがある

安政の大獄起るや西郷と共に身を以て逃れたるも幕史の追捕頭なる急なで共に相抱いて薩摩灣に投じて海底の藻屑と消えた僧月照の墓は南林寺町南洲寺境内にある、夫より十有七年の歳月が流れて明治五年に至り西郷が親しく展墓をしたとき感慨の情を賦したのが例の「相約投淵無先後」の詩である、墓石及び燈籠は平野國臣の建てたもので二首の和歌が彫刻されてある

潮聲視靜抄帳  
忘年句會  
千柿を掃りてよと去る

三十三才 晩霞  
灯換へて明るき句燈や  
年忘れ  
悠然と普請大工の焚火  
ひろげたる子等の手赤  
し庭焚火

年忘れ一壺の酒を味ひ  
ぬ 緑男  
年忘れ吾が妻既に老に  
けり  
焚火すや煤たわむなる  
自在舞  
自もなくて只慢然と年  
忘れ

春断片三  
土屋 龍二

汽車は綿糸の様な吹息を  
吐き乍ら腹痛を訴へて居  
る  
農夫は面白い遊び事を考  
へたと見えて製圖に餘念  
がない  
鴉はおどけた奴さ  
— 學校 —  
オルガンが欠伸をする  
女教員氏は埃だらけのテ  
ーブルベンケを掻き落し  
乍ら生徒の耳が靡れ  
した事を微笑んで居る  
校長先生は鼻毛抜き  
なつてきた

△帝國大學を創立す  
△東京放所の子供達が格子戸の外か  
△大正一四△滿洲國成立  
△昭和七△熱河討伐の役

△帝國大學を創立す  
△東京放所の子供達が格子戸の外か  
△大正一四△滿洲國成立  
△昭和七△熱河討伐の役

△帝國大學を創立す  
△東京放所の子供達が格子戸の外か  
△大正一四△滿洲國成立  
△昭和七△熱河討伐の役

△帝國大學を創立す  
△東京放所の子供達が格子戸の外か  
△大正一四△滿洲國成立  
△昭和七△熱河討伐の役

木野郎赤峰入城△滿洲國  
政府經濟建設綱要を中外  
に宣布す(向△滿洲國  
皇帝御即位式舉行△スベ  
イン内閣總辭職△時計王  
服部金太郎氏逝去享年七  
十五(同九)

戸隠山の怪談  
丸山 寛雄 作  
真木 浪齋 譯

講談  
瀧之丞は押取り刀で表へす  
その時、先刻廻つて来た  
大家の主人が、建附の悪い  
子供達をわい／＼騒ぎながら  
表の戸をガタガタさせて入  
行つてしまつた

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

三十回生徒募集  
非常時の女性に促す  
婦人職業の近道に  
産婆看護婦を御選り下さい  
それは成績の最もよいと定評のある

平南町 産婆看護婦學校  
△申込み成はるべく早く  
△新學期の開始は四月八日より

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

貴方の御家庭に  
お手不足は御座いませんか  
本會を御利用下さい……  
直に家政婦を派出します。

### 郡下へ六萬二千餘圓

#### 義務教育費國庫負擔金の交付

#### 一と息つく地方各町村

市町村義務教育費國庫負擔法及び市町村立尋常小學校臨時國庫補助法による交付金の申請につき、郡下は、その他の各町村に比し、前年度の交付金に比し、前者六萬五千四百五十八圓、後者三萬五千二百六十四圓、總額にして一萬九千六百六十四圓の増額で、直ちに三市三百七十五ヶ町村に交付する事となつた。郡下の總額は六萬三千六百八十八圓で、之により、義務未拂給等の支拂に一大緩和を來すものと見られてゐる。町村別の交付金額左の如し

泉村	五八八	渡邊村	六九	
八 植田町	六三四	山田	九	
村九	二二	錦村	九六四	
勿來町	二、一〇	上野	九	
野村	一、〇六七	入野	九	
村二	五九四	川村	四	
七	一八	田村	外三ヶ村組	七
合	一、四二三	平町	三	
〇〇七	飯野村	三五五		
夏井村	三一九	高久村	二	
八〇	豊間村	一、八七一		

### 地方米低落歩調

#### 市況弱氣から 明日の共取出荷減少

明日の郡農倉穀物共取の出荷をなすのは、二十六日大蔵省が集合協議する事になつた。内務省より正式聽許の指針は、

一等	五	九	四
二等	六	〇	六
三等	三	一	五
四等	二	五	七
五等	一	〇	七
六等	一	〇	七
七等	一	〇	七
八等	一	〇	七
九等	一	〇	七
十等	一	〇	七

### 一雨毎に春の領域へ

#### 今年に早い花の訪れ 確信に満ちる測候所の打診

近頃チヨイ／＼艶めかしい春の訪れが、憂鬱な冬を去り、今年に早い花の訪れが、確信に満ちる測候所の打診。...

### 母の日週間を強調

#### 明日日協議を開く

財団法人日本日協婦人會、並同女子青年會では、毎年六月六日の地人節を、母の日として設定し、母の日週間を強調する事になつた。...

### 坑歌の唱和により

#### 能率増進を圖る

第二警隊の主力坑として大川第一學士設計監督の下に、坑歌の唱和により、能率増進を圖る。...

### 全合格を期す第二校

#### 誓女受験百十三名の 願書取纏めに着手

湯本町東町カフエー、誓女受験百十三名の願書取纏めに着手。...

### 騙つた金で妾狂ひ

#### 正妻を捨て豪奢な生活

湯本町天王崎賣炭商、騙つた金で妾狂ひ、正妻を捨て豪奢な生活。...

### 生家へ預け放して

#### 子を顧みぬ年増酌婦

湯本町東町カフエー、生家へ預け放して、子を顧みぬ年増酌婦。...

### 平野聯合保健組合結成

#### 昨日發會式を挙る 役員及び規約決定

平野管内料理業者(百三十餘軒)の統制を圖るため、平野聯合保健組合を結成。...

### 四倉町起債

#### 一萬三千圓

四倉町、一萬三千圓の起債。...

### 白水阿彌の第二回修理

#### 郷土の史的時事解説(二)

白水阿彌の第二回修理。郷土の史的時事解説(二)。...

石城酒造組合主催 酒會 (優等入選) 白馬の雪 辰の日本店

平野町 電話二八五番 販 平野町三丁目(電話四番)

腸胃病性 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科

院醫科性胃腸村松 (番七)一電町南町平

高久病院 内科 外科 小児科 産科

安齊外科醫院 入院隨意 自炊の便あり

平野町赤心堂病院(電話四七五番)